

## G30日本語教育 2019年度報告

国際教育交流センター国際プログラム部門

初鹿野 阿れ・徳弘 康代

### 1. 国際プログラム (学部) における日本語科目

国際プログラム (学部) は秋入学であるため、本稿では2109年度、G30国際プログラム (学部) の必修科目である日本語科目の報告として、2018年10月入学の1年生の後期 (春学期) 日本語科目と、2019年10月入学の前期 (秋学期) 日本語科目について述べる。

春学期日本語科目 (「総合日本語2・日本語セミナー (コミュニケーション) 2」または、「アカデミック日本語」2, 4「ビジネス日本語」2, 4) を履修した1年生は32名であった。

秋学期は例年どおり9月に新入生のためのプレースメント・テスト及び、日本語ガイダンスを実施し、日本語で単位を取る学生を適切なクラスに振り分けた。入学者中、必修外国語を日本語で取る学生は33名であった。初級クラスが22名、中級クラスが11名となり、ほぼ全員が必修6単位を取得することができた。

卒業生は、日本及び海外の大学院へ進学する学生が多いが、少しずつ日本の企業に就職する学生も増えている。また、海外の大学院を修了後、日本の企業に就職する学生も出てきており、キャリア形成における日本語学習の重要性が増している。今後、新型コロナウイルスの影響による留学生採用の減少も懸念されている。留学生への就職支援の新たな在り方、オンラインの活用などを検討していく予定である。

以下は毎年開講されている授業科目の一覧 (コース名と主要教材) である。順序の都合から、秋学期を先にする。必修科目は1年次に行われるが、2年生以上で日本語を使って研究、就職を考えている学生にも、これらの科目は履修可能になっている。

また、アカデミック日本語とビジネス日本語は参加人数によって受け入れ可能な場合、NUPACE や院生、研究生、G30の大学院生なども受け入れている。

〈秋学期〉(2019年10月～2020年3月)

- 総合日本語 1a・1b
- 日本語セミナー (コミュニケーション) 1a・1b  
『日本語初級1大地』  
『Write Now! Kanji for Beginners』
- アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 1  
『大学・大学院留学生の日本語1読解編』  
『大学・大学院留学生の日本語2作文編』
- アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 3  
『大学・大学院留学生の日本語3論文読解編』  
『大学・大学院留学生の日本語4論文作成編』
- アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 5  
『日本語学習のためのよく使う順漢字2200』
- アカデミック日本語 (聴解・口頭表現) 1  
『中級日本語で挑戦!スピーチ&ディスカッション』
- アカデミック日本語 (聴解・口頭表現) 3  
『アカデミック・スキルを身につける聴解・発表ワークブック』前半
- ビジネス日本語 1  
『新装版ビジネスのための日本語』前半
- ビジネス日本語 3  
『新装版商談のための日本語』前半

〈春学期〉(2019年4月～2020年9月)

- 総合日本語 2a・2b
- 日本語セミナー (コミュニケーション) 2a・2b  
『日本語初級2大地』  
『Write Now! Kanji for Beginners』
- アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 2  
秋学期と同じ教材の後半
- アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 4  
秋学期と同じ教材の後半
- アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 5  
『日本語学習のためのよく使う順漢字2200』

- アカデミック日本語（聴解・口頭表現）2  
『もっと中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』
- アカデミック日本語（聴解・口頭表現）4  
『アカデミック・スキルを身につける聴解・発表ワークブック』後半
- ビジネス日本語 2  
『新装版ビジネスのための日本語』後半
- ビジネス日本語 4  
『新装版商談のための日本語』後半

## 2. その他の活動

### (1) 日本語教育実践入門

2019年度も4月から、日本人大学生向けの講義「日本語教育実践入門」を教員2名により開講した。この講義は、日本語教育の基礎を、実際の授業に参加しながら学び、それを通して、日本人学生と留学生が交流し、お互いに異文化理解を進め、国際的視野を身につけることを目的としている。

18年度にこの講義を履修した日本人学生6名とG30の留学生6名が協働で漢字学習動画を作成した。留学生と日本人学生が2人1組になって、1漢字1動画（2～3分）で、各組1動画を作成した。作成にあたっては、漢字1字だけでなく、その字を含んだ単語の紹介を5単語程度入れること、絵は自分で描く等、著作権の問題が発生しないように作成するよう注意し、作成方法・内容については学生達の楽しい発想に任せ、それぞれの学びを尊重した。この活動は、名古屋大学

留学生支援事業として行われたもので、留学生の漢字学習支援であるとともに、日本人学生と留学生の交流の場を設けることも目的として行われたものである。図1に漢字「的」の動画の一部を示す。

### (2) 愛岐留学生就職支援コンソーシアム「留学生就職促進プログラム」ビジネス日本語講座

愛岐留学生就職支援コンソーシアムが行っている「留学生就職促進プログラム」のビジネス日本語講座のコーディネートをを行った。開講された講座は次の通りであるが、2月以降のプログラムは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

- 日本語能力試験対策講座 N1（夏休み中）
- 日本語能力試験対策講座 N4（夏休み中）
- 日本語能力試験対策講座 N1（秋学期中）
- 日本語能力試験対策講座 N2（秋学期中）
- 日本語能力試験対策講座 N3（秋学期中）
- 就活準備日本語講座（基礎）（秋学期・土曜日）
- 就活準備日本語講座（実践）（秋学期・土曜日）
- 日本語スピーキング力テスト（JSST）（秋学期中2回）
- 日本語能力試験対策講座 N1（中止）
- 日本語能力試験対策講座 N5（中止）
- ビジネスコミュニケーションのための日本語（中止）

講座の受講者の総数は279名であった。各講座とも好評であった。日本での就職や、そのために日本語を学ぶことに対する関心の高くなっている中、新型コロナウイルスの影響による募集・応募の減少が懸念される。今後はオンラインでの開講も検討している。

### (3) 名大基金感謝の集い

毎年春休みに行われる名大基金感謝の集いが3月に行われる予定であった。名大基金から奨学金をもらっている学生が感謝のスピーチを行うため準備を始めていたが、本年度は中止となった。準備を進めていた学生には来年度またお願いする予定である。

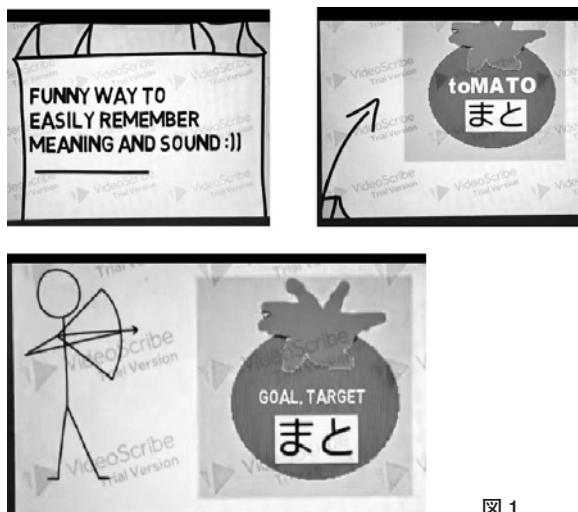


図1